

世界2位の称号と みんなで闘った誇り

新春特別対談 ～誰もが住んでよかったと誇れる町へ～



新春特別対談 ～誰もが住んでよかったと誇れる町へ～

「世界2位という結果を、誇りに思って良いんだ」。デフリンピックの舞台で日の丸を背負い、歴史を塗り替えた松元卓巳選手の言葉には、育ち、そして今も居住する宇美町への誇りと感謝があふれています。

かつて、町内のジュニアサッカーチームで、「監督と選手」として共に汗を流した二人。時を経て、町を担うリーダーと、世界を相手に闘うアスリートとして、対談を行いました。

二人の視点が交差して見えたのは、多世代が支え合い、多様な体験をとおして成長できる「共生社会」の新しい形でした。希望に満ちた新春特別対談をお届けします。

町長 松元選手、デフリンピック銀メダル獲得おめでとうございます。直後は、「金メダルを獲れず申し訳ない」という気持ちが強かったです。

松元選手 ありがとうございます。直後は、大きな誇りですよ。

町長 決勝戦直後は悔しさもあったと思いますが、「世界で2番目」というのは、大きな誇りです。

松元選手 町長や町民の皆さん、パブリックビューイングで応援してくれた、この姿をニュースで見て、この結果を誇りに思って良いんだと感じることができました。皆さん、応援が嬉しかったですね。

町長 私は誇りを持つことが一番大事だと思います。今日贈つてくれた、この日本代表の「八咫鳥」のエンブレムが入ったユニフォーム。これも誇りの象徴ですね。

松元選手 以前まで、デフサッカーだけ別のエンブレムでしたからね。けれど、町長や仲間たちと声をあげ続け、ようやくサムライブルーの日本代表と同じユニフォームを背負えるようになりました。

町長 声をあげて変えていく。これは「誰もが等しく、誇りを持って挑戦できる社会」の実現にも通じていると思います。

松元選手 以前は、みんなで集まって野球や相撲などをしたり、川遊びで、石の上をバランスをとりながら飛んで遊んだりしていました。遊びから好きなことを見つけたり。

町長 小・中学校の友達、先生、サッカーの仲間、地域の人たち、松元選手を取り巻くみんなが、障がいのある・なしに関わらず接していたということですね。

松元選手 そうですね。「心のバリアフリーな環境」こそが、今の僕の自信の原点になっています。



ユニフォームの八咫鳥のエンブレム



▲松元選手から、日本代表ユニフォームが贈られました

—松元選手の強さの原点とは—

松元選手 僕は、宇美町で育つ中で、自分がなかたんですね。

町長 小・中学校の友達、先生、サッカーの仲間、地域の人たち、松元選手を取り巻くみんなが、障がいのある・なしに関わらず接していたということですね。

松元選手 そうですね。「心のバリアフリーな環境」こそが、今の僕の自信の原点になっています。



町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—



町長 これから、松元選手の思い描く夢について聞かせてください。

松元選手 これから、松元選手の思い描く夢について聞かせてください。

町長 多世代間でのコミュニケーションは、いどもたちの心を豊かにすると思う。それが、今の町がめざす「共生社会」の土台になつていると感じます。

松元選手 松元選手が、チームの中で、「コミュニケーションをとるときに、大切にしていることがありますか？」

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—

町長 高齢者も外に出ることや、地域の人とつながるきっかけになれば、孤独も防げり、いどもたちも応援されることで誇りを持てますね。

松元選手 この町なら、そんな新しい共生の形が実現できると信じています。

町長 これから、そんな新しい共生の形が実現できると信じています。

松元選手 僕たちの世代って、いろいろなスポーツをした中で、少しづつ絞っていました。あの経験があるから、今の僕があります。早くから一つに絞らず、いろいろな体験の中から夢を見つけてほしいです。

町長 大切なことですね。時代の変化の中でも、アップデートして工夫をしながら、多様な体験ができる環境を整えることが町や地域の役目だと感じます。誰もが「宇美町に住んでよかった」と誇れる町を、これからも一緒につくりていきましょう。

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔と一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—

町長 多世代間でのコミュニケーションは、いどもたちの心を豊かにすると思う。それが、今の町がめざす「共生社会」の土台になつていると感じます。

松元選手 松元選手が、チームの中で、「コミュニケーションをとるときに、大切にしていることがありますか？」

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔と一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—

町長 高齢者も外に出ることや、地域の人とつながるきっかけになれば、孤独も防げり、いどもたちも応援されることで誇りを持てますね。

松元選手 特に、スポーツを「みる・ささえよ」、「見る・みる・ささえる」という点で、自分のいどもや孫だけでなく、地域のいどもたちの試合をみんなで応援に行く文化を作りたいと思います。

町長 これから、そんな新しい共生の形が実現できると信じています。

松元選手 僕たちの世代って、いろいろなスポーツをした中で、少しづつ絞っていました。あの経験があるから、今の僕があります。早くから一つに絞らず、いろいろな体験の中から夢を見つけてほしいです。

町長 大切なことですね。時代の変化の中でも、アップデートして工夫をしながら、多様な体験ができる環境を整えることが町や地域の役目だと感じます。誰もが「宇美町に住んでよかった」と誇れる町を、これからも一緒につくりていましょう。

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔と一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—

町長 多世代間でのコミュニケーションは、いどもたちの心を豊かにすると思う。それが、今の町がめざす「共生社会」の土台になつていると感じます。

松元選手 松元選手が、チームの中で、「コミュニケーションをとるときに、大切にしていることがありますか？」

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔と一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—

町長 高齢者も外に出ることや、地域の人とつながるきっかけになれば、孤独も防げり、いどもたちも応援されることで誇りを持てますね。

松元選手 この町なら、そんな新しい共生の形が実現できると信じています。

町長 これから、そんな新しい共生の形が実現できると信じています。

松元選手 僕たちの世代って、いろいろなスポーツをした中で、少しづつ絞っていました。あの経験があるから、今の僕があります。早くから一つに絞らず、いろいろな体験の中から夢を見つけてほしいです。

町長 大切なことですね。時代の変化の中でも、アップデートして工夫をしながら、多様な体験ができる環境を整えることが町や地域の役目だと感じます。誰もが「宇美町に住んでよかった」と誇れる町を、これからも一緒につくりていましょう。

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔と一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—

町長 多世代間でのコミュニケーションは、いどもたちの心を豊かにすると思う。それが、今の町がめざす「共生社会」の土台になつていると感じます。

松元選手 松元選手が、チームの中で、「コミュニケーションをとるときに、大切にしていることがありますか？」

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔と一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—

町長 高齢者も外に出ることや、地域の人とつながるきっかけになれば、孤独も防げり、いどもたちも応援されることで誇りを持てますね。

松元選手 この町なら、そんな新しい共生の形が実現できると信じています。

町長 これから、そんな新しい共生の形が実現できると信じています。

松元選手 僕たちの世代って、いろいろなスポーツをした中で、少しづつ絞っていました。あの経験があるから、今の僕があります。早くから一つに絞らず、いろいろな体験の中から夢を見つけてほしいです。

町長 大切なことですね。時代の変化の中でも、アップデートして工夫をしながら、多様な体験ができる環境を整えることが町や地域の役目だと感じます。誰もが「宇美町に住んでよかった」と誇れる町を、これからも一緒につくりていましょう。

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔と一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合えるはずです。

松元選手 そうなんです。この町で育った僕だからこそ、キャプテンとしてチームを一つにできたと思っています。

—「する・みる・ささえる」「スポーツでつながる多世代」—

町長 多世代間でのコミュニケーションは、いどもたちの心を豊かにすると思う。それが、今の町がめざす「共生社会」の土台になつていると感じます。

松元選手 松元選手が、チームの中で、「コミュニケーションをとるときに、大切にしていることがありますか？」

町長 宇美町には、昔から地域のいどもたちよいうとする文化がありました。

松元選手 町長とはサッカー以外にも、昔と一緒に餅つきや山登りをしましたよね。ほかにも、地域の方々との田植えや野菜作り体験、ことむ会での行事などで、多世代やさまざまな人と一緒に活動して、関係を築いてきました。

町長 それは大事なことですよね。耳が聞こえていても伝わらないこともあります。聞こえないに関わらず、お互いが相手を理解しようとする意志があれば、思いは必ず通じ合